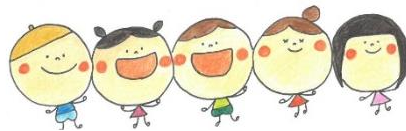




むぎのほ



かいかんだより

2021年8月
第257号

子ども家庭支援センター麦の穂

中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内

TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139



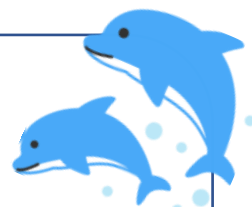
夏の日差しがまぶしく暑さも厳しくなりました。夏休みのお子どもたちは、暑さにも負けず元気いっぱい！水遊びを楽しむ子どもたちの声を麦の穂会館から聞きながら“夏”を感じています。

♪支援センターの活動紹介♪

先月7月8日（木）地元中津川市坂本の乳幼児学級にて、横田心理士が講師となり「子育て講話」を行ないました。

0～3歳のお子さんを持つお母さんたちの“イヤイヤ期でいつも怒ってばかり…”

“兄弟ゲンカどうしたらいい？”“卒乳について”など、日々の子育ての中で困ったなと感じていることにお答えする形で、子どもとの関わりの中でヒントとなるような話題をおりませ、お話ししました。子育ては10人のお母さんがいれば10通り！「これが正しい」はありません。子育てに悩めるお母さん、がんばってます！「子どもと真剣に向き合っているからこそ。自信をもってください。」「ちょっと一息も忘れずに」という横田心理士のメッセージ。子育て中のお母さんたちにぜひ届けたいです。



○子ども家庭支援センター麦の穂をご利用下さい○

- ✿子どもと家庭に関する電話・訪問・来所相談
- ✿里親支援に関する事業、里子・里親の支援
- ✿地域支援事業・健全育成事業
- ✿子育てサークル活動への支援、居場所提供
- ✿講演会・学習会の企画・実施など

保育参観の日、親の眼はクラスのなかで部屋に飾ってある絵、作品、友達とどのように遊んでいるかを見つけ、また先生の言葉を聴いているか、...

参観の日、壁に飾ってある絵を見て、わが子の名前はどこにあるかを必死に探します。そして飾ってある絵を見て**一喜一憂**します。また、クラスで友達とどのようにかかわっているか、話しているか、遊んでいるか、見ていただけなのかといったことを鋭く見つめます。参観が始まると椅子に座っているか、隣の子をたたくのでないか、みんなと同じように歌っているのかを見ています。

三歳の年少組の時は、座っているのか心配、親の顔見て泣いてしまうのでないか不安、先生の言ったことを守るか気になります。壁に飾ってある絵は形になっていない・同じ色だけの絵を見て、こんな描き方でこの子は大丈夫か心配なのが**三歳児初めての参観日**です。それが二年目・三年目になるとわが子への見方が変わってきて不安感は少なくなつて学年の最初の参観をすることになります。

年少の時の参観で泣いていたこと・じっと座っていなく友達を突ついたこと・トイレ失敗していたことをすっかり忘れてるのが親です。

年長では、飾ってある絵を見てうまくなったと感激、友達と一緒に歌っているのを聴いて上手になった、はさみで丸く切れるのを見て見事といった捉え方で子どもの参観が終わったら〈●●上手になったね〉〈△△できてお母さん感動した〉というやり取りがあり**親の満足感に浸っている場面が多くみられます**。

しかし、ここで子どもたちは本当に満足していない子がいることを把握して欲しいものです。**大きく成長・発達したことを具体的に褒めて欲しいのが子ども**です。年少の時の初めて描いたひっかき画・クレパスを持つ力が弱くか細い形・決まった色づかいの絵・雨が降っているとテンテンテンと叩いて描いた絵、友達とすべり台でシューと滑っているつもりの形にならないが点線で楽しいイメージを描いていた三歳児の時を思い出します。二年・三年経つと色の違いを観察し使い方を**工夫**し、**イメージが幅広くなり、思考力や判断力がついて自分なりの表現**ができ人の顔や人間らしく手や足がついています。絵を描く知識・技術だけでなく新しい**発見**して他の子と**違った絵を描いているところを褒めて欲しい**と、子どもは考えています。**工夫したことをその日にほめて自信をもたせる**ことが出来ます。友達と工夫して遊び、朝の歌を歌うときに友達の声の聴いているか見つけるのが親です。自分勝手に大声で元気に歌うのは違います。友達の歌う声を聴く、そして聞くことで大きすぎない歌になり、**友達と心を合わせる**ことになります。そこには**友達を意識して友達を大切にする思いやりの原点**が育っていることを先生や親も理解したいものです。最も大事な**思いやりが育っていることを理解していない大人にならない**ことです。